

哀しく激しく燃えさかる女の心に、咲き乱れる  
ひまわりは愛のかげろう——



〈テクニカラー〉  
パナビジョン

ソフィア・ローレン/マルチェロ・マストロヤンニ  
リュドミラ・サペリエワ/監督ピットリオ・デ・シーカ  
アブコ・エンバシー作品/日本ヘラルド映画  
サントラ盤・ビクターレコード 原作・ヘラルド映画文庫刊



“Sunflower”

ひまわり



# "Sunflower" ひまわり

●監督 ビットリオ・デ・シーカ  
 ●ソフィア・ローレン  
 ●マルチェロ・マストロヤンニ  
 ●リュドミラ・サベリーエワ

## 〈愛〉〈涙〉〈感動〉〈別離〉〈ひまわり〉〈スター〉〈主題曲〉……

### 物語

ジョバンナ（ソフィア・ローレン）とアントニオ（マルチェロ・マストロヤンニ）は、第二次大戦初期に結婚した。

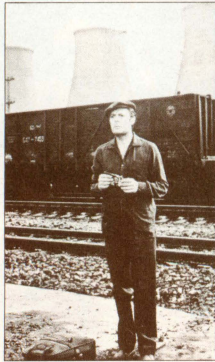
ナポリからアントニオの故郷であるミラノに新婚旅行の計画をたてたが、彼が予備兵なので休暇を取るには許可が必要だった。わずか14日間の新婚休暇はあまりにも短く、苛酷だった。思い余った末、二人はある名案を生み出した。彼が召集から逃れるためには発作的精神病者であるふりをすれば良いと。総てはうまく喜んでいるところを憲兵に見つかり、アントニオは軍法会議にかけられた。長期の刑に服するか、自ら志願してソ連戦線におもむくか。決心してソ連戦線へと旅立つアントニオを、ジョバンナはミラノ駅で群衆にもまれて淋しく見送った。



ソ連では武器、食料、衣服の欠乏から数多くのイタリア兵が厳寒の中で死んでいった。年月が過ぎ、戦争が終わったのにアントニオの消息は知れなかった。アントニオの母と二人でイタリアに暮らしていたジョバンナは、決心して夫を探しにソ連に旅立った。モスクワからウクライナ地方まで夫を求めて……ある日、モスクワ郊外に出掛けたジョバンナは、美しいロシア娘が洗濯物をとりこんでいるのに出会った。そばにいた赤ん坊がジョバンナを見て舌足らずのイタリア語で、ボンジョルノ。

と言った。この子の親はイタリア人に違いない、と思った彼女は、アントニオの写真をそのロシア娘に見せた。二人の女性は、本能的に悲劇の影を直感した。娘はマーシャ（リュドミラ・サベリーエワ）といった。雪原に倒れていた瀕死のアントニオを彼女が救い、結婚したのであった。鉄道員として親子三人の幸福な暮らしをしているアントニオ。マーシャの案内で駅へ行ったジョバンナは、そこにまぎれもないかつての夫を見た。ジョバンナの眼から涙があふれ出た。ジョバンナは走り去ろうとする汽車に飛び乗った。客席にくずれおちると、肩をふるわせて泣いた。くやしさと悲しさと絶望……

ミラノに戻ったジョバンナは、夫を待ちわびる妻の姿をさらりと捨てた。アントニオもあれ以来、落ちつきを失い、それを察したマーシャの計りでイタリアに出かけた。ミラノについていた彼はジョバンナに連絡するが、拒絶された。やっと再会した二人はかつての感情を取り戻そうとしたが、既に結婚して子供までいるジョバンナは、すべてが昔と違ってしまったことを思い知るのだった。翌日、アントニオはミラノからモスクワ行きの汽車に乗った。遠ざかる汽車を見ながら、かつて戦場におもむくアントニオを見送った同じホームにジョバンナは独り淋しく残された。



### 解説

この映画を見た人は誰もが思い出す。熱い涙で頬を濡らしたことを——公開のたびに劇場を感動の涙で包む愛の名作、待望の再登場。

見わたす限り、地平線まで広がるひまわりの花、花、花。そのひまわりに埋まるウクライナの太平洋を舞台に展開される悲痛な「愛」と「別離」のドラマ。

第二次大戦中のイタリア、結婚してわずか14日間の生活ののちソ連戦線へ去った夫。戦地から届いた行方不明という一片の通知を信用せず、何年も夫の帰りを待つ妻。そして戦後、広大なソ連の地に夫を求めてさまよい歩いた彼女が見たのは、美しいソビエト人の妻と子供を持つ、かつての自分の夫であった……

主演の三大スターの見事な演技が素晴らしい。「昨日・今日・明日」をはじめとして数多い名コンビのマルチェロ・マストロヤンニとソフィア・ローレン。それに「戦争と平和」のナターシヤで有名な清楚で美しいソ連の名花リュドミラ・サベリーエワ。

監督は名匠ビットリオ・デ・シーカ。10年という準備期間をかけて悲劇のラブ・ストーリーを完成させた。胸に切なく語りかける主題曲は映画音楽史上に残るほどの名曲。

担当は「シャレード」「ピンクパンサー」のイ・シリ・ヘンリー・マンシーニ。

また、ドラマの背景となるモスクワの赤い広場や広大なウクライナ地方の



ひまわり畑、ドン河沿いの農家のたたずまいなどソ連のロケーションが見る者の心に重要な印象を残す。それもそれは、ソ連国内の美しい風景を外国のカメラが捉えたのは初めて。これを実現させたのが、大プロデューサーのジョセフ・E・レビンとカルロ・ポントー。

主演者もスタッフも一流。この映画は誰もが認める「愛の名作」です。  
 （上映時間・一時間四十七分）

同時公開 名匠ウィリアム・ワイラー監督作品  
**嵐が丘** WUTHERING HEIGHTS

圧倒的なリクエストに応じて2本立名作ロードショー！  
 11月  
 ロードショー  
 渋谷東急文化会館5階  
**渋谷東急** (407) 7029